

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-21 市民農園事業 □支援部門						
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活と密着した都市農業の振興						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
運営資源状況	事業の対象者数	65人					
	決算値(千円)	782	1,771	915			
	(国・県)	0					
	(負担金等)	782					
	(一般財源)	0	1,771	915			
	人員配置数	0.6	0.8	0.5			
	人件費(千円)	4,911	7,139	4,579			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	5,693	8,910	5,494			
	市民1人当りの経費(円)	32					
	対象者1人当りの経費(円)	87,585					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
市民農園区画利用率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	100.0%	100.0%	100.0%	93.0%	

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	
市民農園事業	782千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	市が開設する大船地区市民農園の第9期の利用を開始し、その管理・運営を行った。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	平成26年度以降の大船地区市民農園の土地継続使用に係る調整を行う。農地相談会を活用し、土地所有者による新規市民農園開設に向けた調整を行う。		
課題解決のための取組	大船地区市民農園の土地継続使用に係る調整を継続した。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	大船地区市民農園の土地継続使用に係る調整を行う。農地相談会を活用し、土地所有者による新規市民農園開設に向けた調整を行う。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		↓	課長等名	
		③有効性 ○			B	産業振興課長
		④公平性 ○				加藤 博

